



# 日本精密株式会社

CODE : 7771

2024年3月期 第2四半期

決算説明資料

2023年12月1日



まのひらロム  
で世界を刻び

# AGENDA



**1. 2024年3月期 第2四半期決算概要**

**2. 2024年3月期 通期業績計画**

**3. Appendix**

**2024年3月期第2四半期決算財務諸表サマリー  
会社概要**

# AGENDA



**1. 2024年3月期 第2四半期決算概要**

2. 2024年3月期 通期業績計画

3. Appendix

2024年3月期第2四半期決算財務諸表サマリー  
会社概要

## 売上高

2024年3月期2Q実績

2023年3月期2Q実績

対前期比

**3,162**百万円

**3,546**百万円

**▲10.8%**

対通期計画進捗率

**48.1%**

## 営業利益

2024年3月期2Q実績

2023年3月期2Q実績

対前期比

**43**百万円

**81**百万円

**▲46.1%**

対通期計画進捗率

**26.7%**

# 2024年3月期第2四半期 決算概要

## 2024年3月期 ハイライト ②

### 経常利益

2024年3月期2Q実績	2023年3月期2Q実績	対前期比
<b>314</b> 百万円	<b>497</b> 百万円	<b>▲36.8%</b>

営業外収益  
円安による為替差益：**298**百万

対通期計画進捗率  
**331.1%**

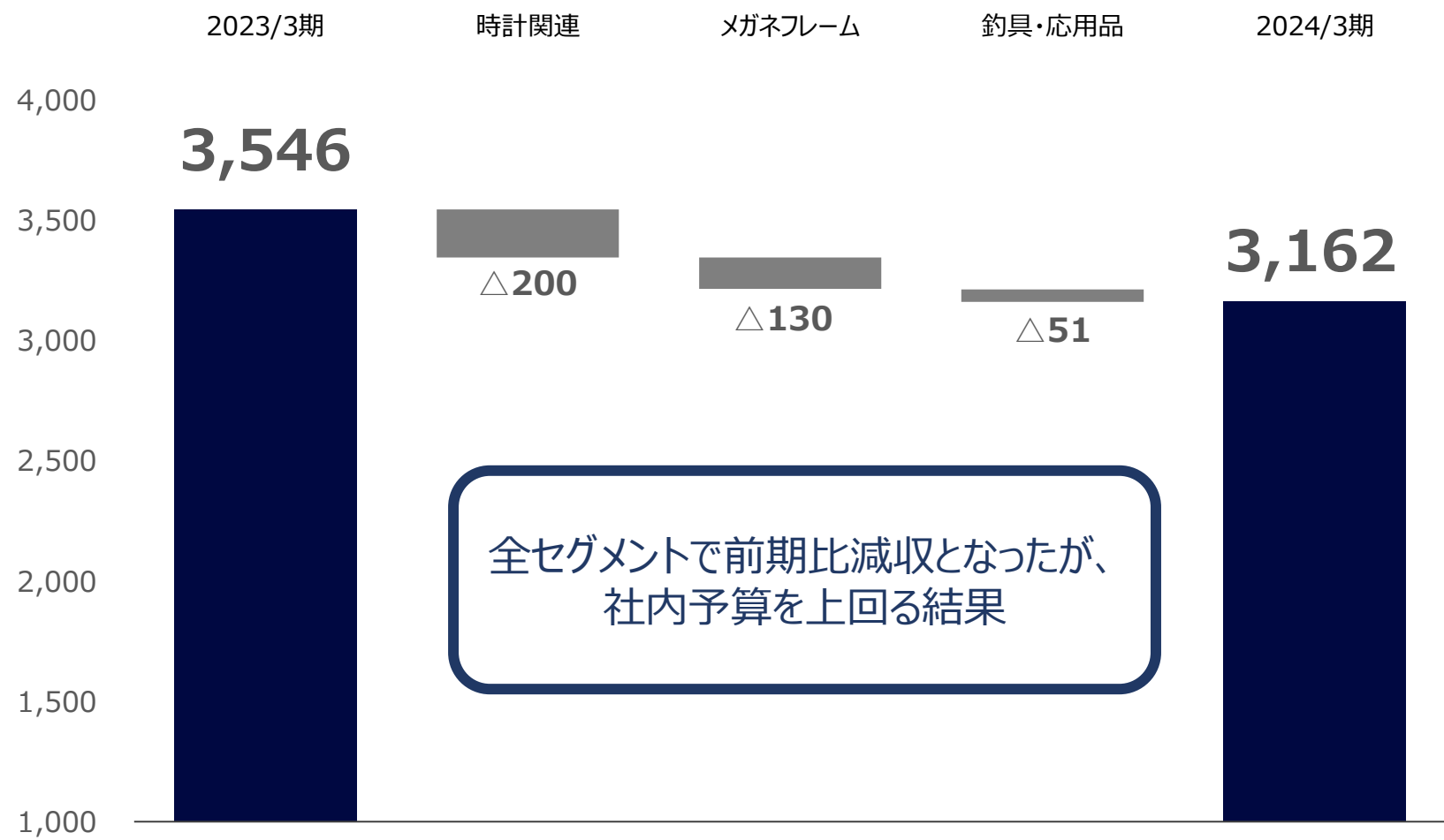
### 親会社株主に帰属する四半期純利益

2024年3月期2Q実績	2023年3月期2Q実績	対前期比
<b>257</b> 百万円	<b>378</b> 百万円	<b>▲32.1%</b>

対通期計画進捗率  
**299.2%**

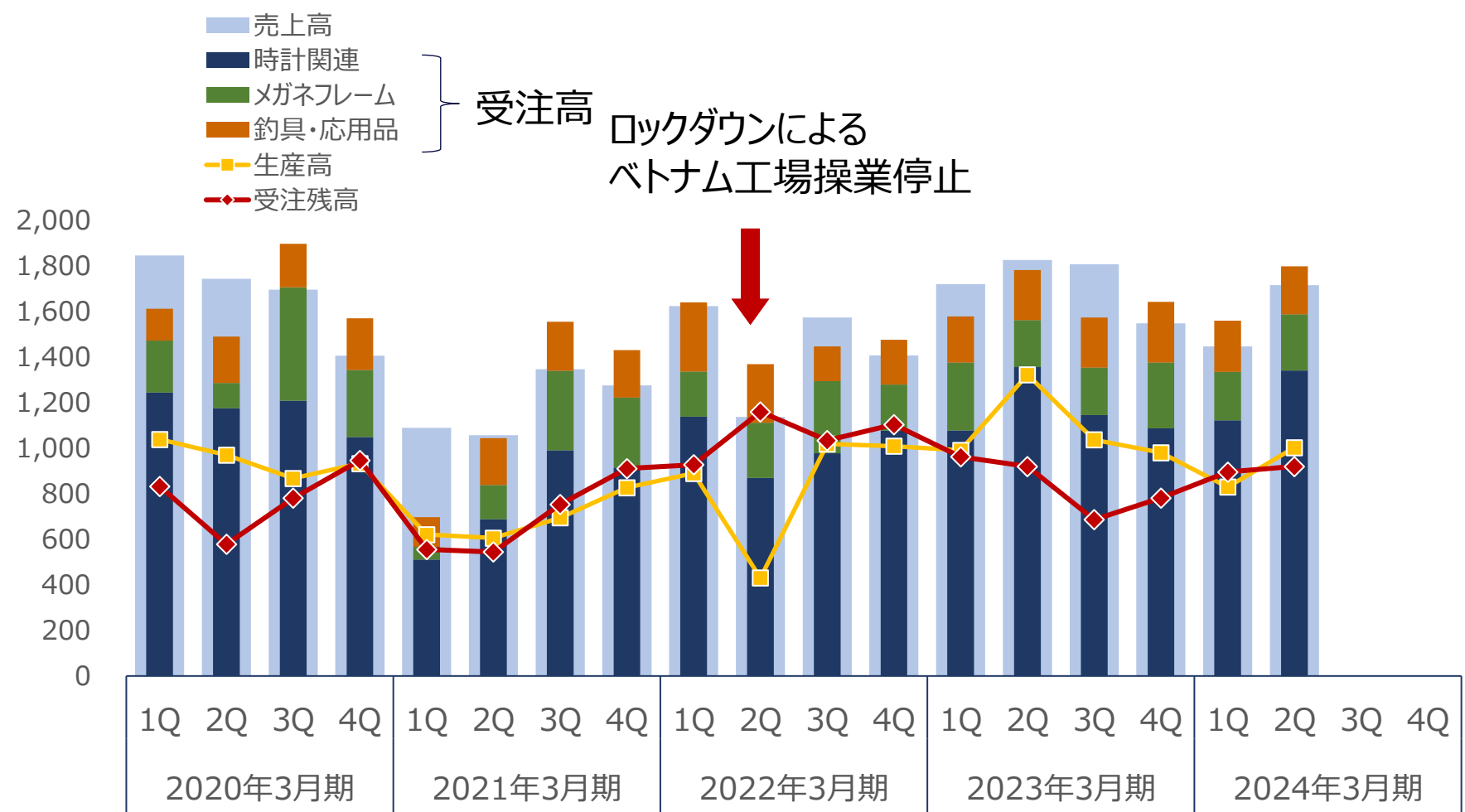
# 2024年3月期第2四半期 決算概要

## 売上高増減要因分析



# 2024年3月期第2四半期 決算概要

## 四半期推移 (売上高・受注高・生産高・受注残高)



コロナ禍

単位：百万円(万円)

売上高

2,235 百万円

対前期比

△8.2%

セグメント利益

△21 百万円

対前期比

△1億52百万円

受注高

2,462 百万円

対前期比

+1.2%

受注残高

558 百万円

対前期比

+1.9%

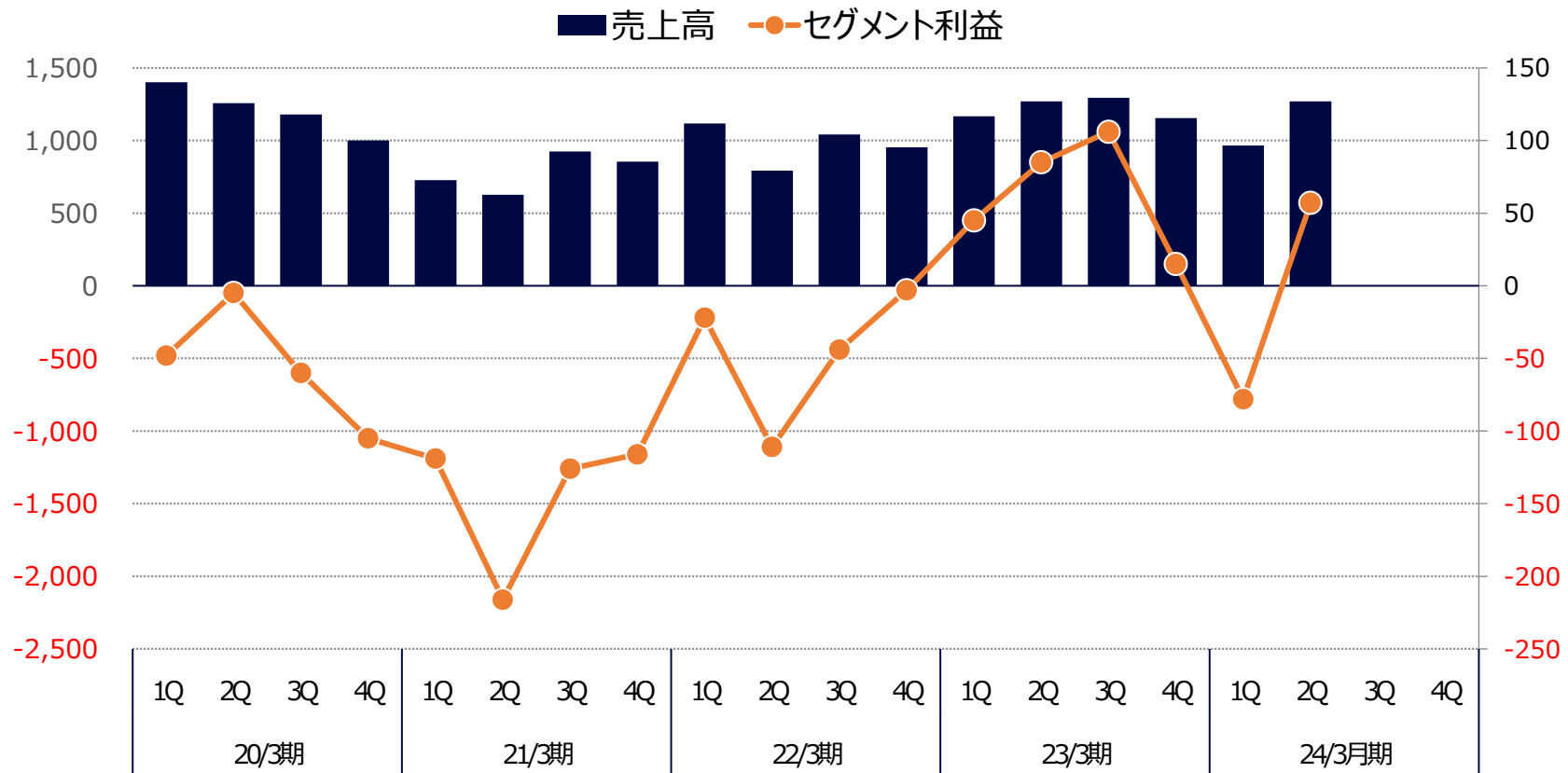




# セグメント別概況：時計部門 ②

一部取引先の在庫調整の影響あるも四半期ベースでは黒字確保。

### 売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移

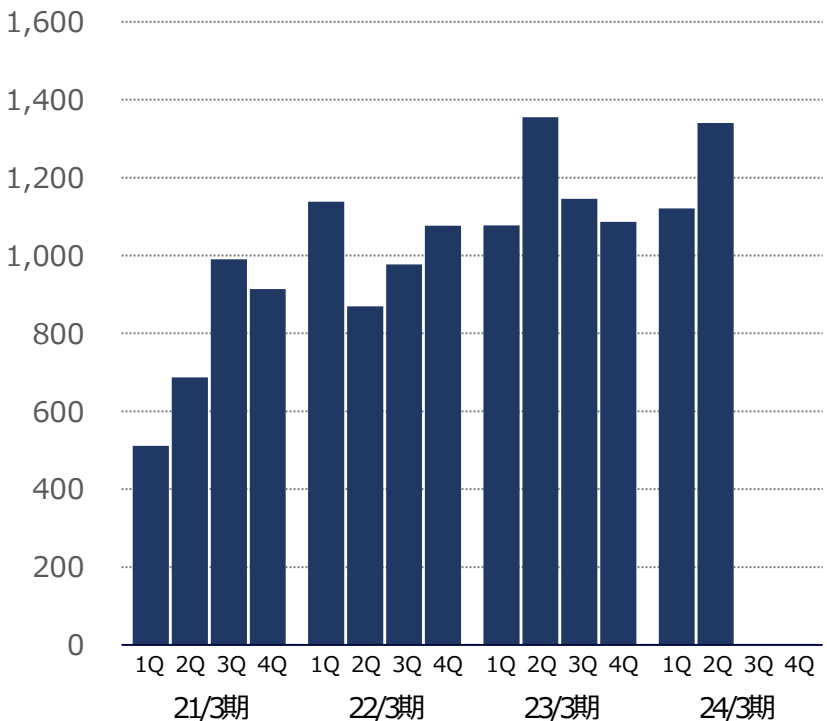


単位：百万円

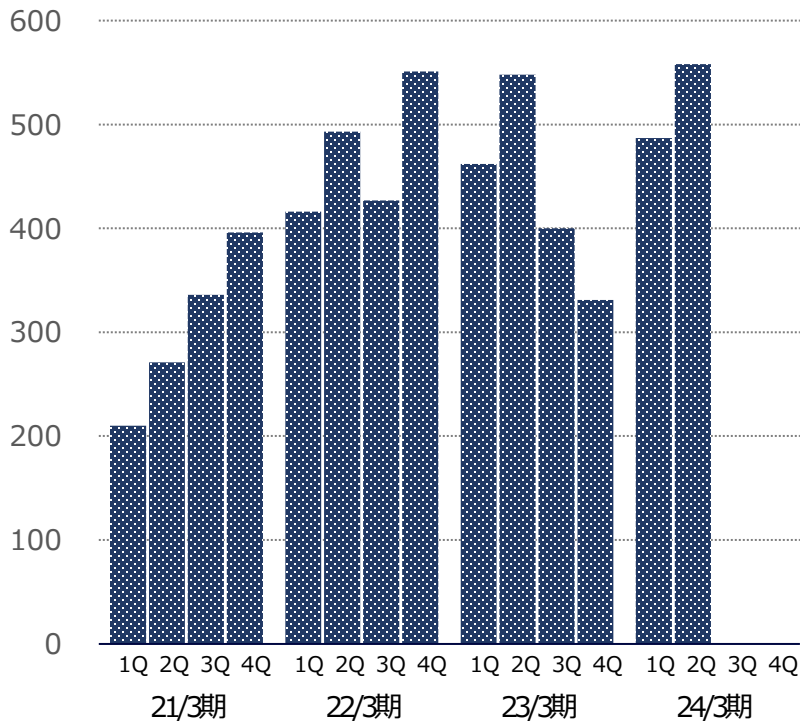


**受注は活発。受注残高も高い水準を維持。**

受注高四半期推移



受注残高推移



単位：百万円

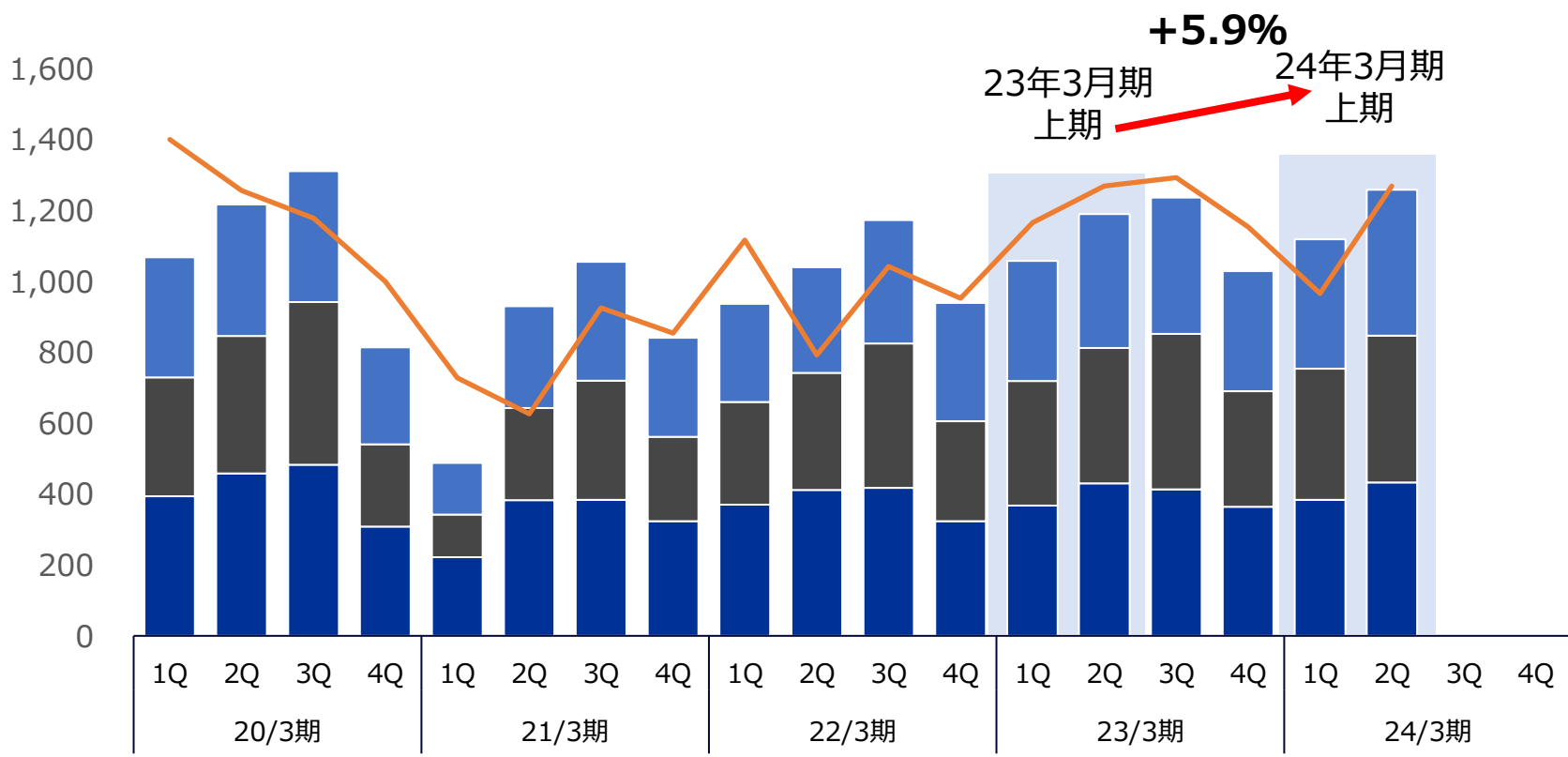


# セグメント別概況：時計部門 ③

## 国内大手時計メーカー3社の動向：腕時計市場は堅調

【国内主要時計メーカー 時計事業売上高推移】

■ カシオ ■ シチズン ■ セイコー — 当社時計売上



出所：各社決算説明資料より当社作成

単位：百万円

売上高

**471**百万円

対前期比

△**21.7**%

セグメント利益

**29**百万円

対前期比

+**420.8**%

受注高

**461**百万円

対前期比

△**8.8**%

受注残高

**273**百万円

対前期比

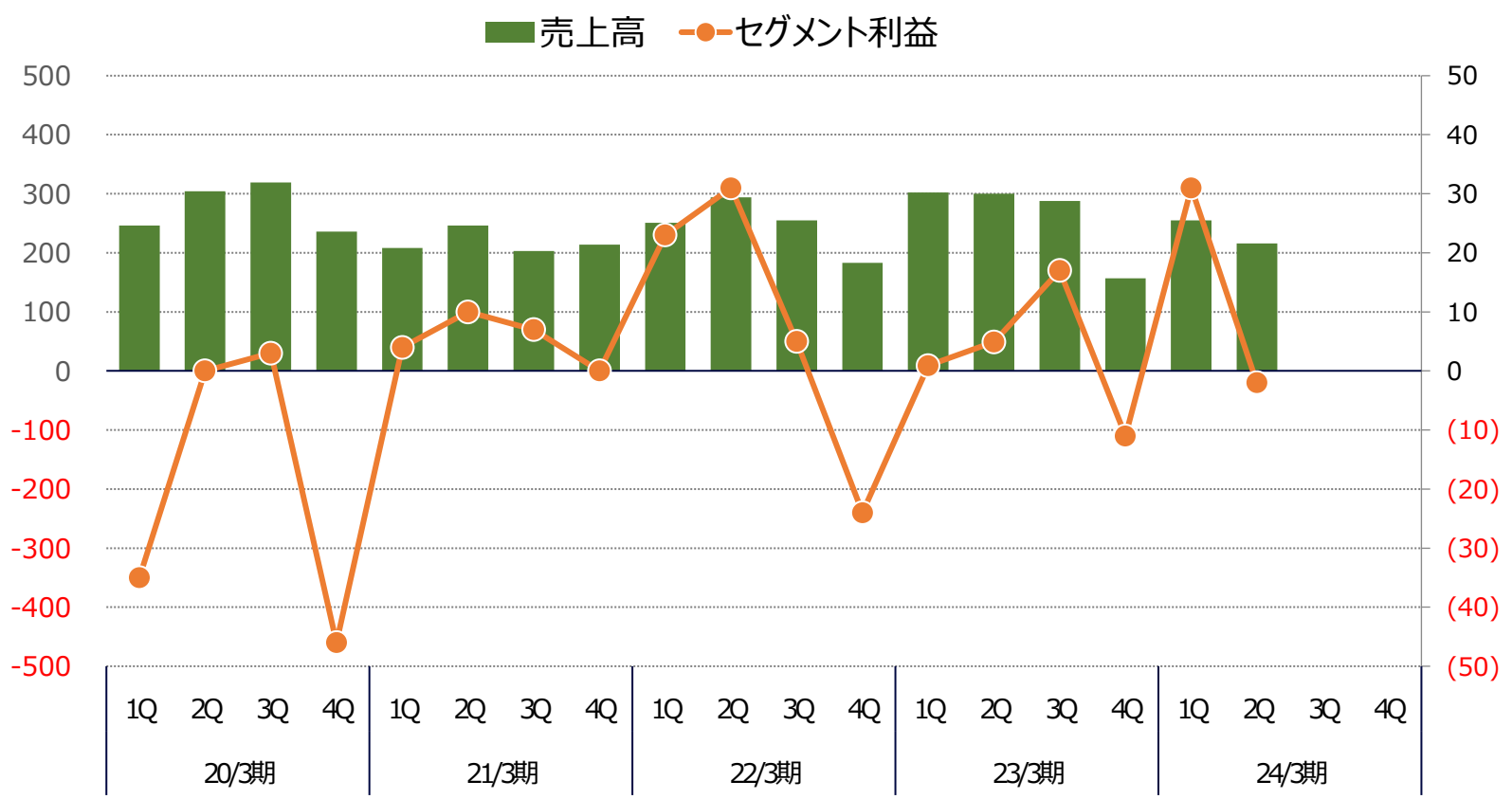
+**17.9**%



# セグメント別概況：メガネフレーム部門 ②

## 主要ブランドにおける受注の期ズレもあり減収。

### 売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移



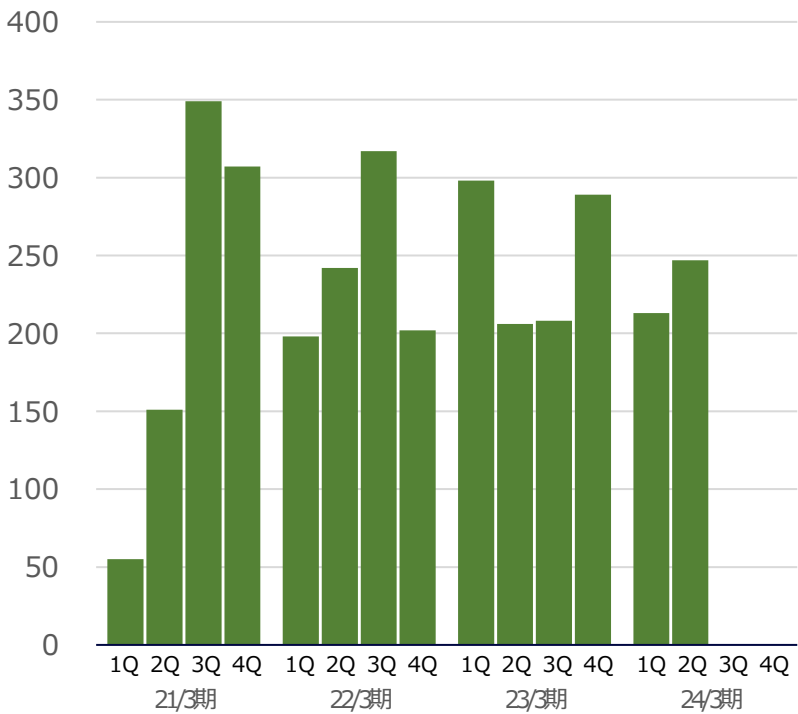
単位：百万円



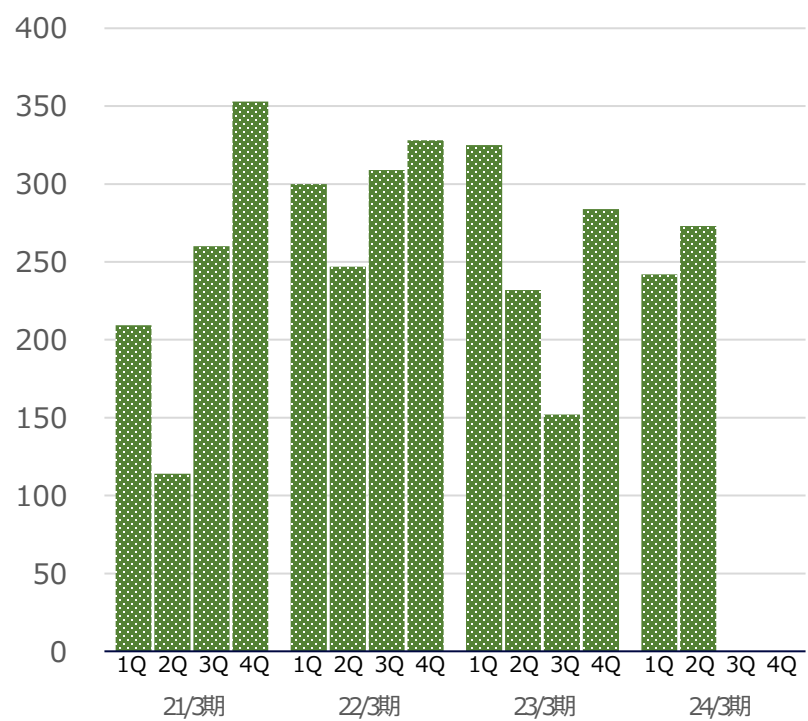
# セグメント別概況：メガネフレーム部門 ③

## 受注は堅調に推移。

### 受注高四半期推移



### 受注残高推移



単位：百万円

売上高

455百万円

対前期比

△10.2%

セグメント利益

32百万円

対前期比

+87百万円

受注高

435百万円

対前期比

+2.8%

受注残高

146百万円

対前期比

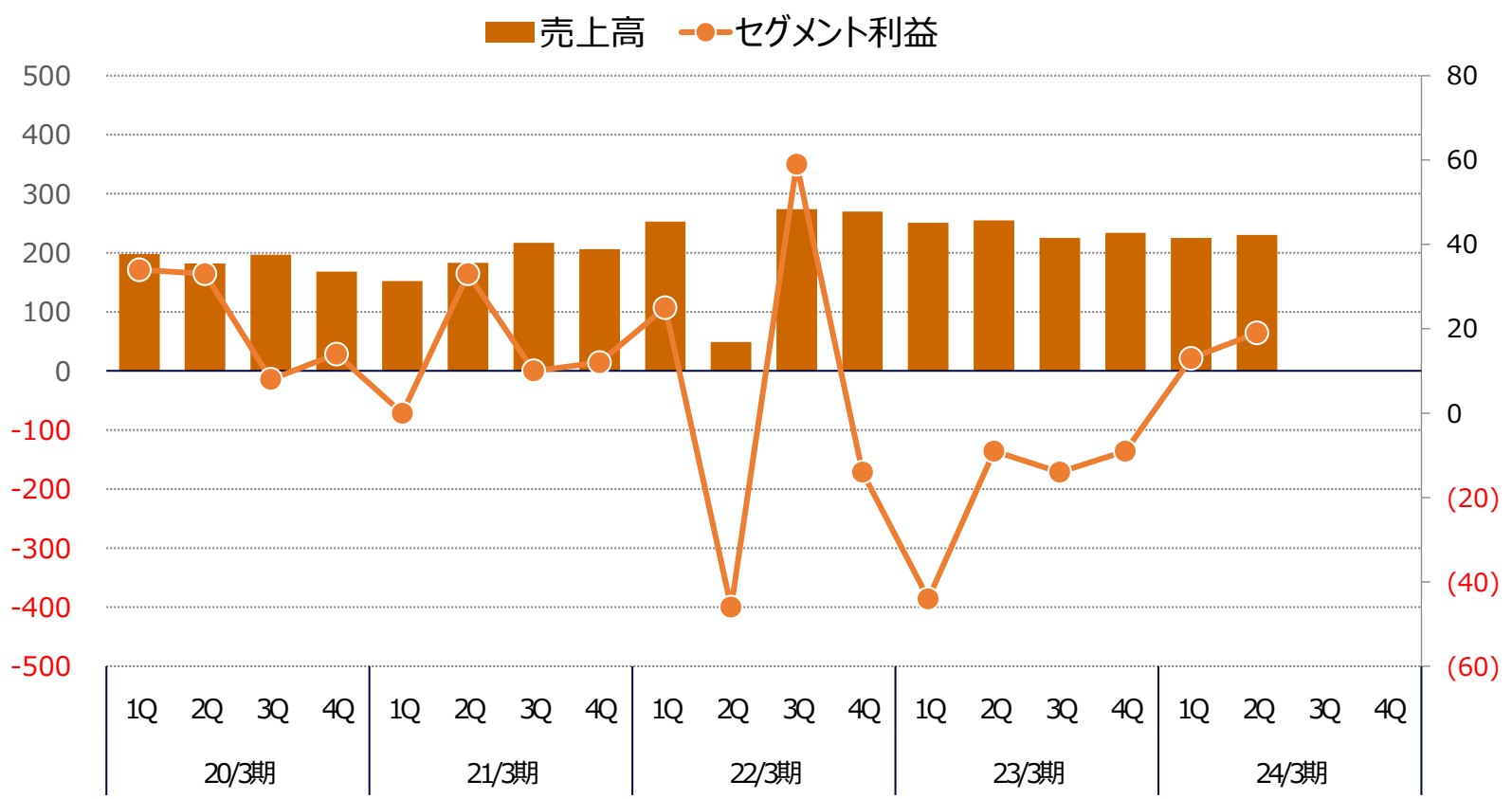
+5.2%



# セグメント別概況：釣具・応用品部門 ②

## コロナ禍を終え生産体制正常化。黒字定着へ。

### 売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移



単位：百万円

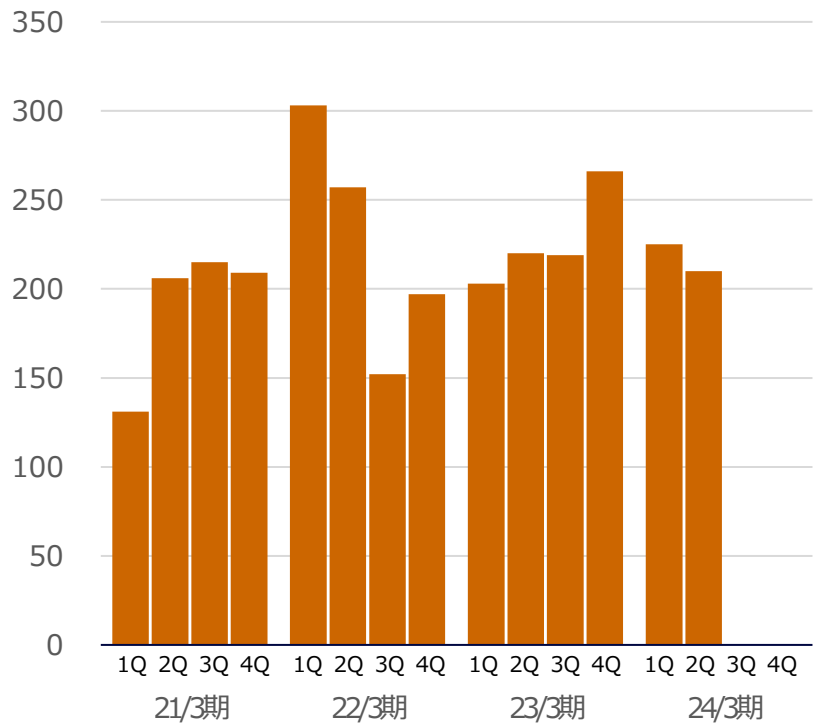




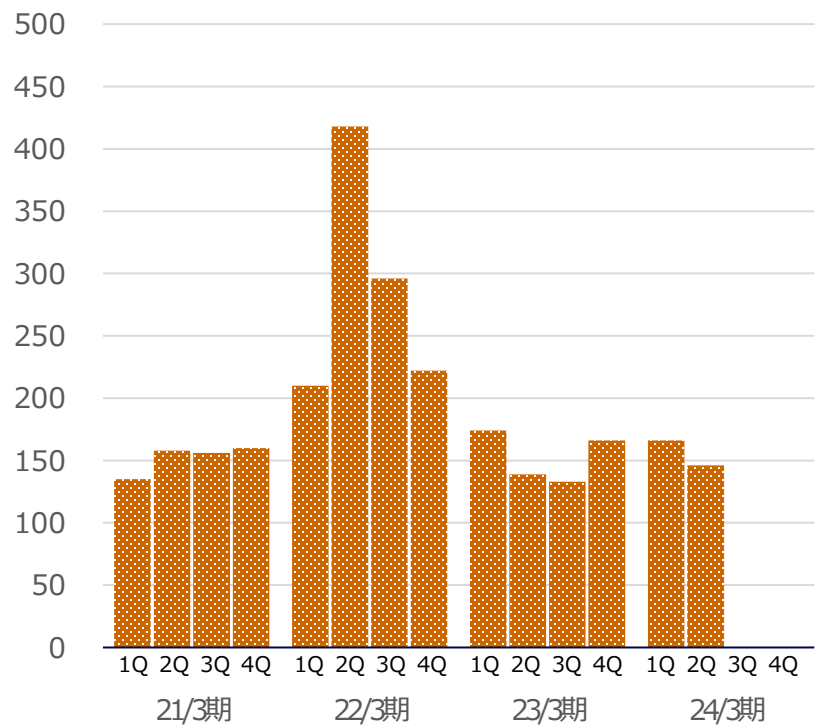
# セグメント別概況：釣具・応用品部門 ③

## 金属の採用アイテム増加により釣具好調

### 受注高四半期推移



### 受注残高推移



単位：百万円

# AGENDA



1. 2024年3月期 第2四半期決算概要

2. 2024年3月期 通期業績計画

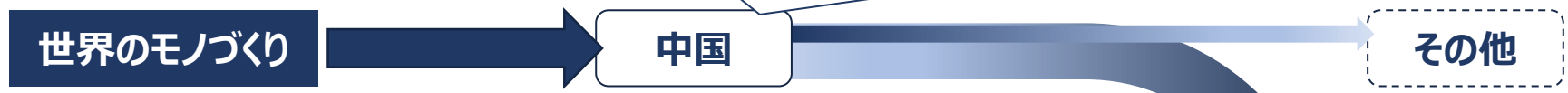
3. Appendix

2024年3月期第2四半期決算財務諸表サマリー  
会社概要

# 外部環境：モノづくりにおける『NEXT China』の動きが加速

世界からモノづくり技術が中国へ

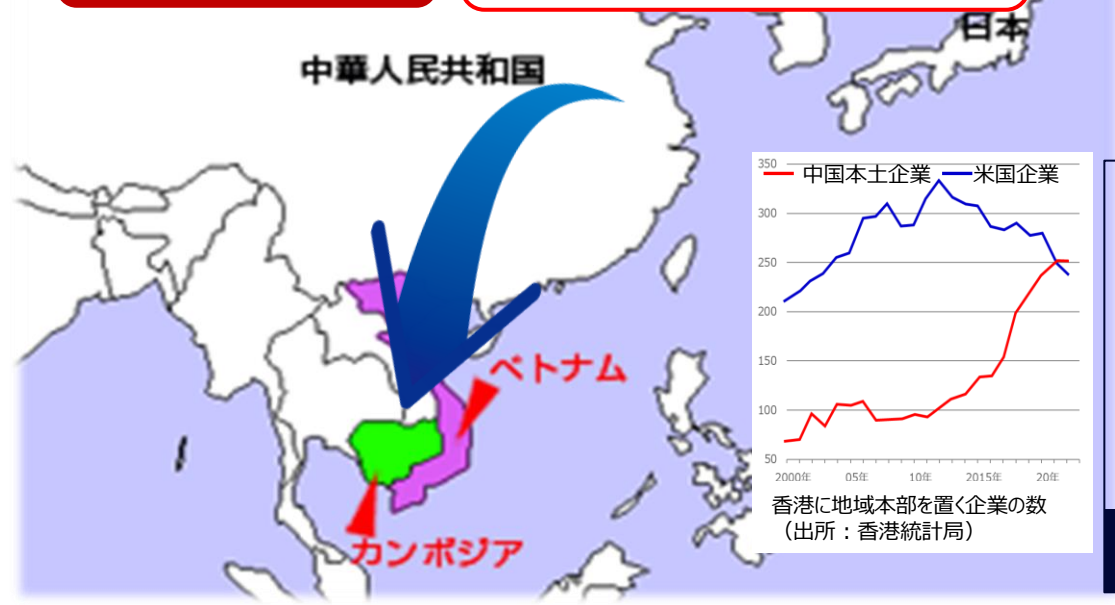
金属製時計バンド：世界生産の約8割



一人っ子政策+経済成長による若者の職人離れ

廃業・倒産による“生産体制崩れ”リスク顕在化

大手メーカーを中心にChinaリスクを回避する動き



## 世界のモノづくりを中国から受け入れる体制を構築

### 【前提】

コロナによる行動制限がなくなったことのプラス面とインフレの進展による景気の減速懸念のマイナス面が共存。ウクライナ情勢に加えイスラエル・ガザ情勢、世界的インフレ、円安の影響による世界経済不透明感の高まりと製造コスト、物流コストの上昇も持続することを想定。一方で、モノづくりにおける脱中国の動きが加速しており、新しい分野（応用品）でのニーズが拡大傾向。

### 【方針】

全社：構造改革を推進し収益体質の更なる強化。製造ラインの半自動化・自動化の推進により生産性向上、製造原価低減を通して収益性を高める。

**業績計画はミニマム目標。**

時計：損益を重視した営業を徹底。黒字化定着へ。

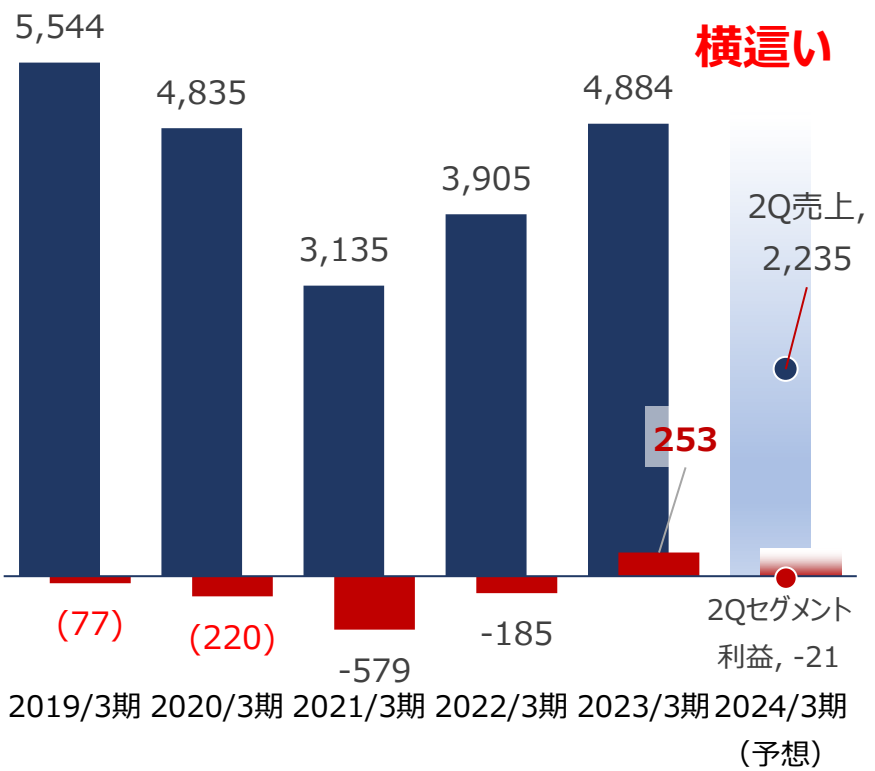
メガネ：黒字体質を維持。更なる収益拡大を目指し基盤強化。

釣具応用：製造原価低減を推進、黒字確保、及び新規分野へのアプローチの強化。



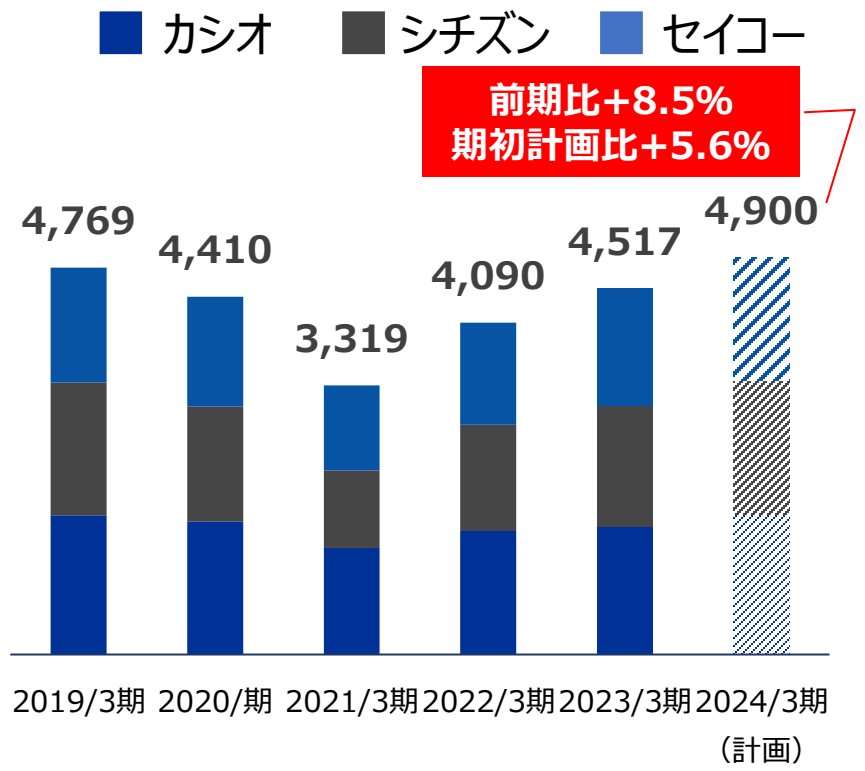
## 通期黒字化に向けて案件の早期刈り取りに注力。

### 時計部門売上高・セグメント利益推移



単位：百万円

### 【国内主要時計メーカー 時計事業売上高推移】



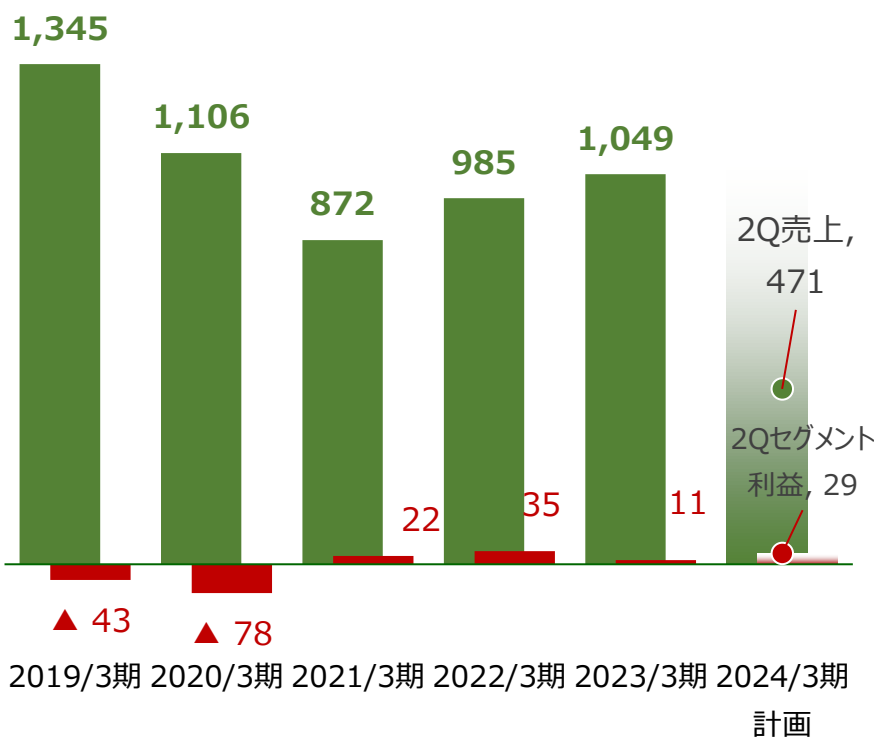
出所：各社決算説明資料より当社作成

単位：百万円



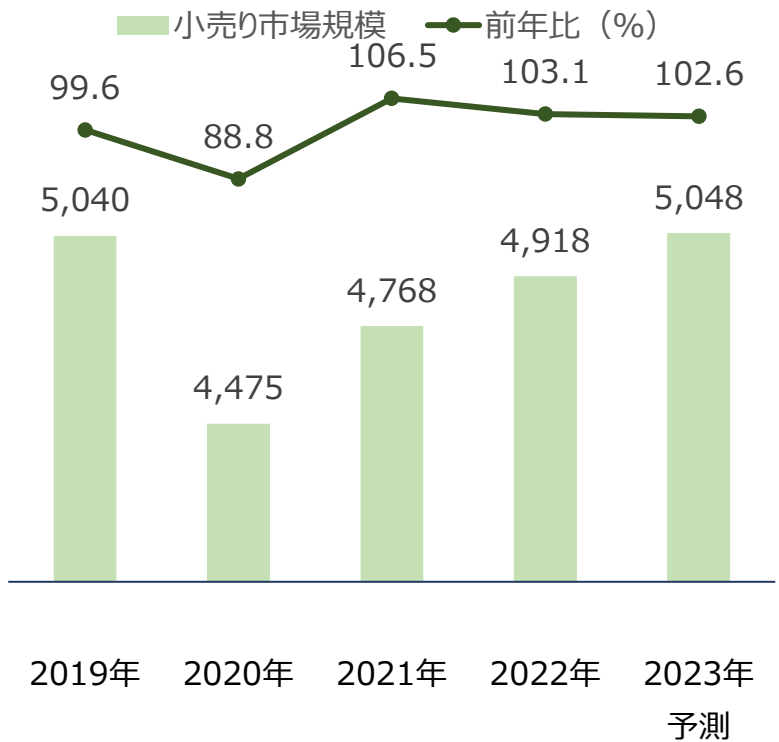
### 市場はコロナ禍以前の水準を回復。積極的な営業展開で増収を狙う。

メガネフレーム部門売上高・セグメント利益推移



単位：百万円

【国内アイウェア市場規模予測】

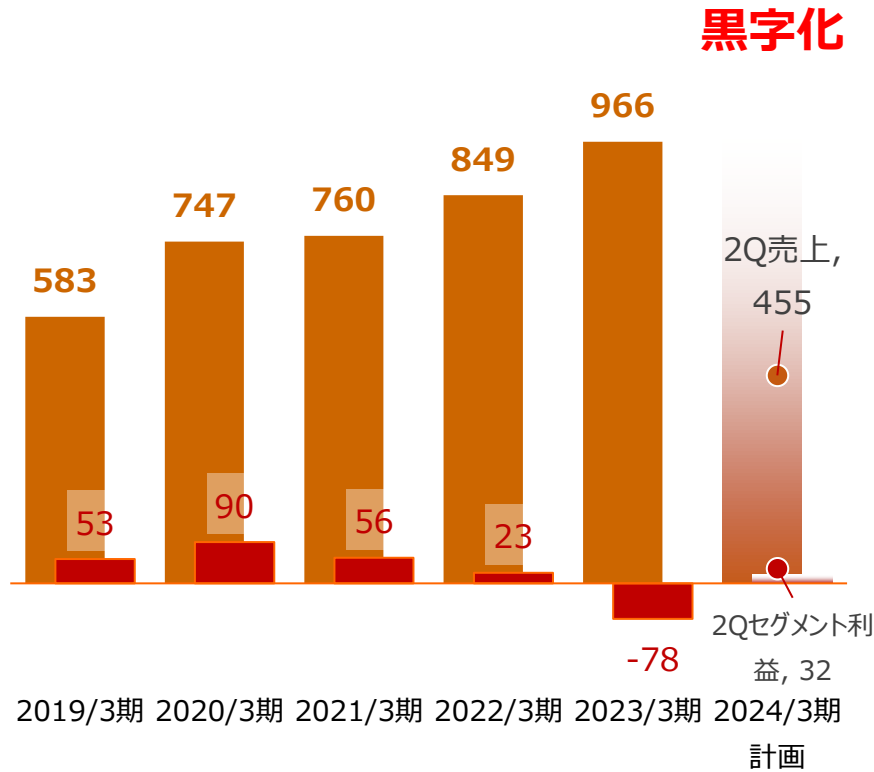


出典：矢野経済研究所「2023 アイウェアブランドマーケット」単位：億円



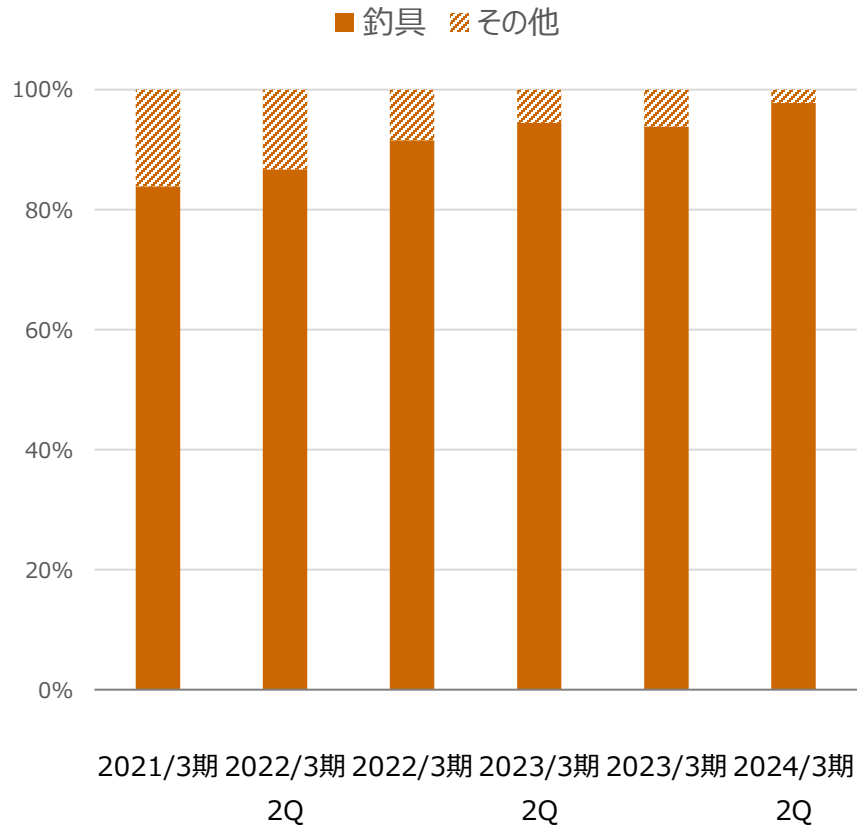
釣具市場の拡大は継続見込み。釣具以外の応用品開拓が急務。

その他（応用）部門売上高・セグメント利益推移



単位：百万円

【釣具、釣具以外の売上構成】



単位：百万円	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	前期比較
売上高	6,569	6,900	△4.8%
営業利益	165	181	△8.6%
経常利益	95	257	△62.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	86	175	△50.5%

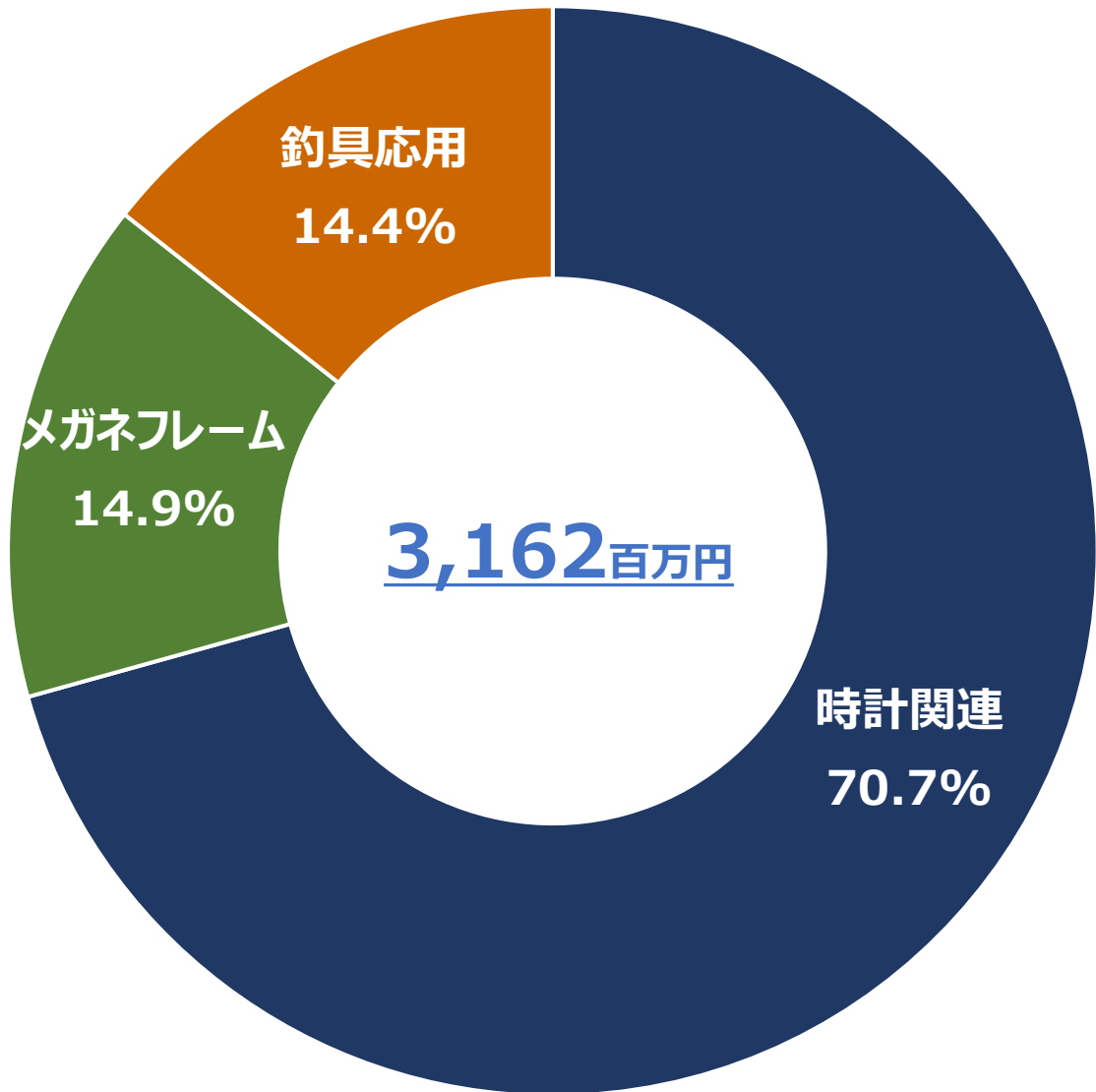


肌に優しい金属加工技術

# APPENDIX

1. 2024年3月期第2四半期決算財務諸表サマリー
2. 会社概要

単位：百万円	2024年3月期 2Q 実績	2023年3月期 2Q 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	3,162	3,546	△383	△10.8%
売上総利益	637	721	△83	△11.6%
販売費及び一般管理費	593	639	△45	△7.1%
営業利益	43	81	△37	△46.1%
【営業外利益】 為替差益：298百万円（23/3期2Q：409百万円）				
経常利益	314	497	△183	△36.8
親会社株主に帰属する 当期純損益	257	378	△121	△32.1



# 2024年3月期第2四半期 決算概要

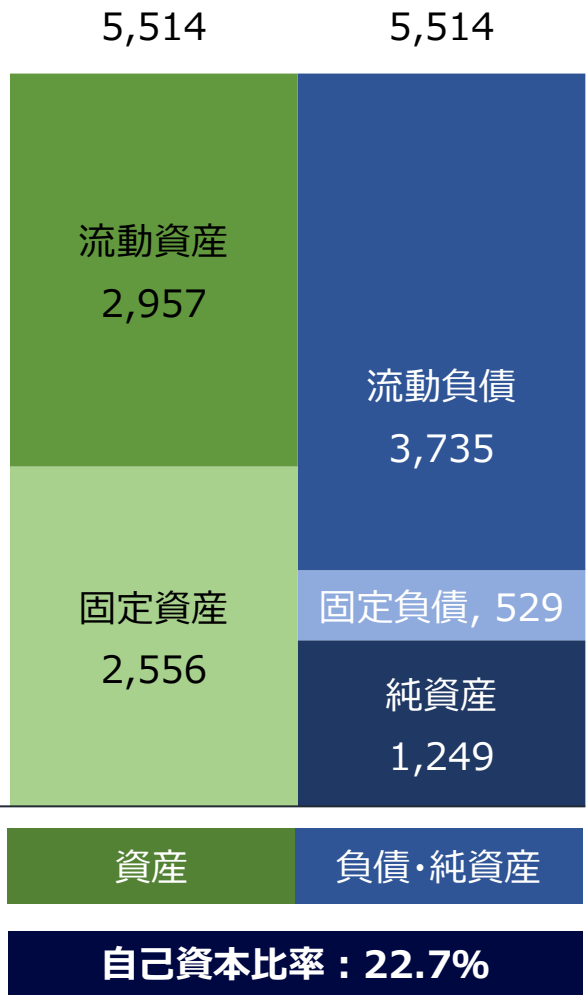
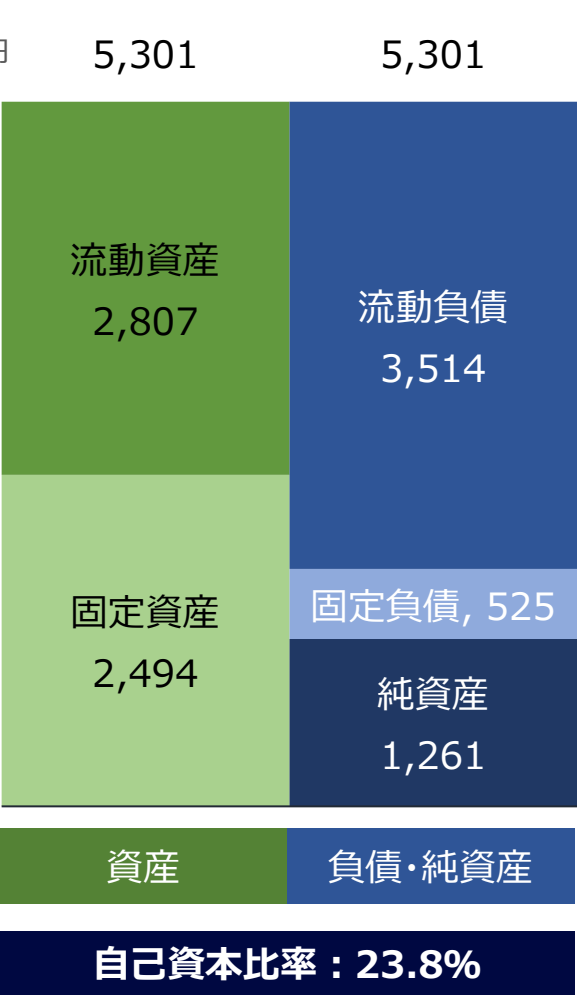
## B/Sの状況 (連結)



23/3期末

23/9月末

単位：百万円



# 2024年3月期第2四半期 決算概要

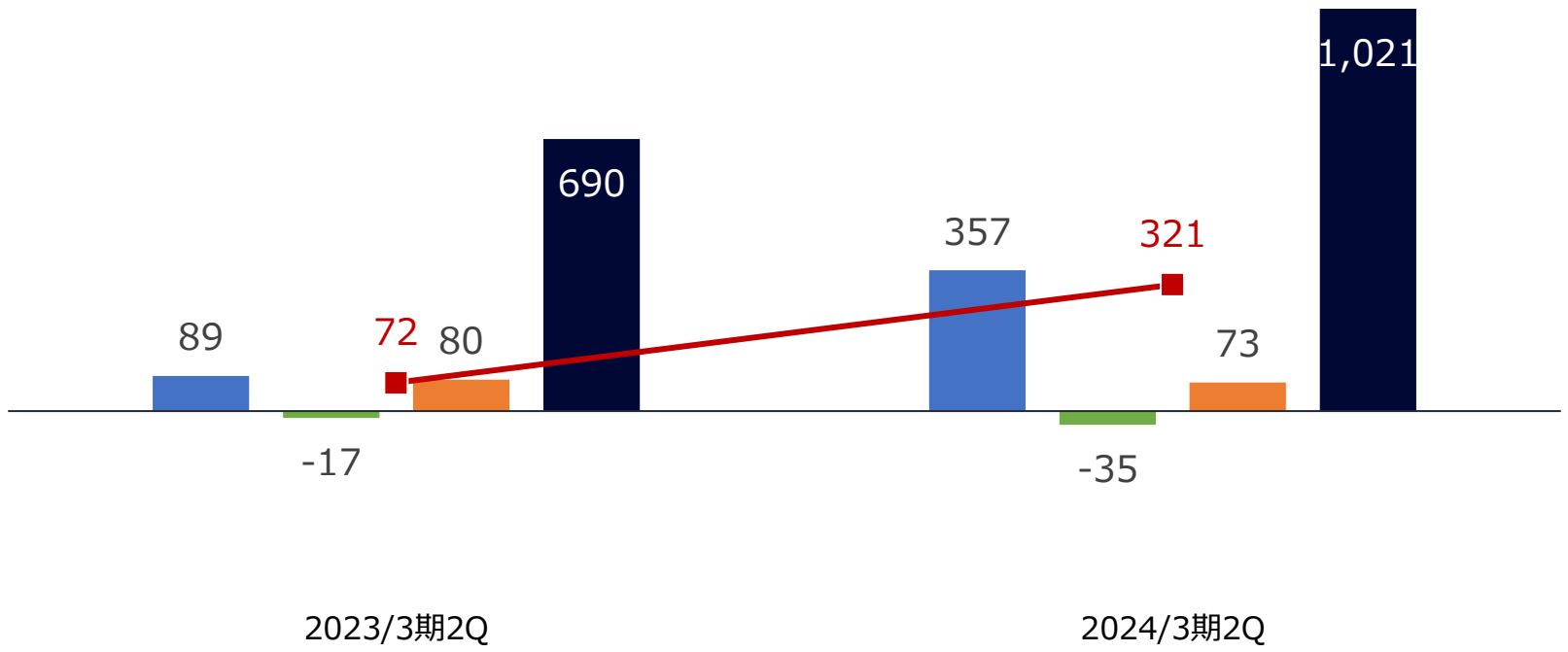
## CFの状況 (連結)



### 【2022年3月期2Q末比較】

単位：百万円

■ 営業CF   ■ 投資CF   ■ 財務CF   ■ 現金及び現金同等物の増減額   ■ フリーCF



# 会社概要 (2023年9月末)

社名	日本精密株式会社 (NihonSeimitsuCo.,Ltd.)
住所	埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階
設立	1978年8月
上場	東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
代表取締役	井藤 秀雄
事業内容	時計バンド及び時計関連部品の製造、販売、メガネフレームの製造、販売、イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
連結子会社	4社、関係会社2社
従業員	1,837名 (連結)
決算	3月
資本金	2,018百万円
発行株式数	22,238,299株
株主数	3,752名



代表取締役社長 井藤 秀雄

2001年8月 当社 入社  
 2007年7月 当社 上席執行役員  
 2008年12月 当社 常務執行役員  
 2009年6月 当社 取締役常務執行役員  
 2018年6月 当社 代表取締役社長 (現任)  
 (株) 村井 代表取締役 (現任)

# 沿革

製品・技術

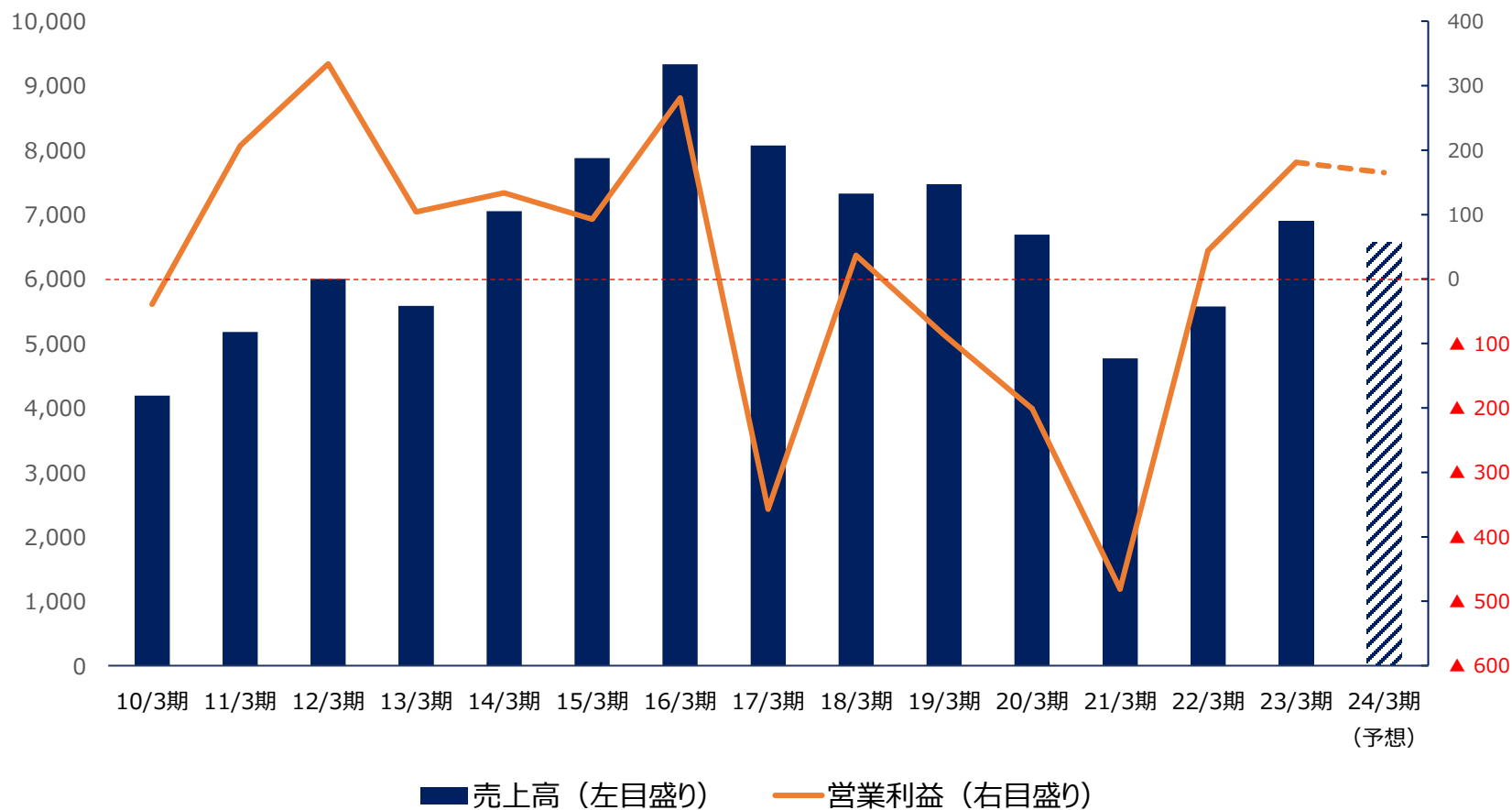
<p><b>【その他】</b></p>	<p>'18 音響用部品供給 '17 コラントツテ</p> <p>'98 釣具用プレス部品 '97 OA機器部品及び自動車用プレス部品</p>	<p>精密金属加工技術を仕事や生活のあらゆるシーンへ展開</p>
<p><b>【メガネ】</b></p>	<p>'95 ドイツ・ヨーロッパ向けにOEM(チタニウム製) '94 チタニウム製</p>	<p>時計の外装で培った技術を応用し付加価値の高い製品開発を実現</p>
<p><b>【時計】</b></p>	<p>'97 (スイス)RADOに超硬材(タンガステンカーバイド)素材の高級腕時計バンド '95 (スイス)RADOに金無垢/セラミックス素材の高級腕時計バンド '94 時計等装飾品のイオンプレーティング加工 '83 業界初の超硬セラミックス製・純チタニウム製時計バンドの製造・販売 '81 (スイス) RADO '78 カシオ</p>	<p>ブランドヒストリーやその魅力は、時計のフェイスのみならず、技術を施したバンドの存在なしには語れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ブランドキャラクターを表現する技術</li> <li>■ 一貫生産体制で低コスト</li> </ul>

1978年～ 1990年～ 2000年～ 2010年～ 2020年～

<p>'78 設立 (秩父小鹿野)</p>	<p>'94 ベトナムにNISSEY VIETNAM CO.,LTD.を設立 (メガネフレームの生産)</p>	<p>'95 埼玉県川口市に本社移転</p>	<p>'97 販路拡大のために香港九龍に香港支社を設置 (国内時計メーカーが香港シフト)</p>	<p>'00 NISSEY VIETNAM ISO9001認証取得、新工場竣工、時計バンド、応用品、スポーツ用品生産開始</p>
<p>'01 NISSEY VIETNAMにイオンプレーティング加工を移管</p>	<p>'04 東証ジャスダック上場</p>	<p>'13 ASEAN Project I期 '13 カンボジアにNISSEY CAMBODIA CO.,LTD. (時計外装部品等の生産拠点)</p>	<p>'17 ASEAN Project II期 '17 カンボジアにNISSEY CAMBODIA METAL CO.,LTD. (時計バンド等の生産拠点) …'21NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.と合併</p>	<p>生産能力拡大 新事業領域へ</p>
<p>地域連携 一貫した製造体制</p>				

沿革

# 過去からの業績推移



単位：百万円



# 生産・開発拠点 (2023年9月末時点)

## ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



### 本社 (埼玉県川口市)

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井：連結子会社

エヌエスジー(株)：連結子会社

### 香港支店

ベトナム、カンボジアで製造未対応の部品を低コストで中国より調達。営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

### NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎ 時計外装部品等の製造
- ◎ メガネフレームの製造
- ◎ 釣り具部品等の製造 他

高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

### NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎ 時計外装部品等の製造
- ◎ 腕時計バンド (ステンレス無垢バンド) の製造

普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、一大サプライチェーンを構築



# 日本精密株式会社

## 手のひらロマンで世界を刻む

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2023年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。

コーポレートスローガン

『手のひらロマンで世界を刻む』

手のひらロマンで世界を刻む

キャッチフレーズ

『肌に優しい金属加工技術』

肌に優しい金属加工技術